

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期大網白里市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

千葉県大網白里市

3 地域再生計画の区域

千葉県大網白里市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、2012年9月の住民基本台帳人口 51,218 人をピークに減少を続け、2020年には 48,129 人（国勢調査）、2024年10月には 47,771 人（住民基本台帳）まで落ち込んでいる。大網白里市人口ビジョンの将来人口推計では、2030年の住民基本台帳人口は 45,501 人、2060年では 29,865 人となる見込みである。

本市の年齢構成は、60～74歳が突出して多い一方で、それを下支えするはずの現役世代が少ないという特徴がある。年齢3区分別人口をみると、年少人口（0～14歳）は、2014年は 5,863 人だが、2024年には 4,582 人となり、10年間で 1,281 人減少している。生産年齢人口（15～64歳）は、2014年は 31,311 人だが、2024年には 26,601 人となり、10年間で 4,710 人減少している。老年人口（65歳以上）は、2014年には 13,540 人だが、2024年には 16,588 人となり、10年間で 3,048 人増加している。推計においても、2025年で年少人口 4,582 人（構成比 9.4%）、生産年齢人口 26,287 人（構成比 55.5%）、老年人口 16,662 人（構成比 35.1%）、2040年で年少人口 3,369 人（構成比 8.5%）、生産年齢人口 22,740 人（構成比 52.6%）、老年人口 17,136 人（構成比 39.6%）、2060年で年少人口 1,941 人（構成比 6.5%）、生産年齢人口 13,333 人（構成比 44.6%）、老年人口 14,589 人（構成比 48.9%）と推計されており、特に生産年齢人口の減少が大きいと見込まれる。

自然動態をみると、出生数は1998年の385人をピークに減少し、2024年には169人となっている。その一方で、死亡数は2024年には694人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲525人（自然減）となっている。2023年における合計特殊出生率は、千葉県のデータでは1.03となっているが、国（1.20）や県（1.14）を下回っており、出生数の低下が深刻化している。

社会動態については、2013年に社会減となってから小幅な増減を繰り返していたが、2020年に社会増に転じると2023年には転入者（1,922人）が転出者（1,688人）を上回る234人の社会増となっている。しかし、2024年になると転入者数は1,753人、転出者数は1,752人と均衡状態になり、再び社会減となる恐れが生じている。

人口減少が進展すると、ベッドタウンとして発展してきた本市においては、税収に占める個人市民税の比率が高いことから、生産年齢人口の減少が市財政に与える影響は深刻なものとなる。また、地域の担い手減少や地域産業の衰退、地域コミュニティの機能低下、空き家の増加、公共交通など様々な影響が懸念される。

こうした課題に対応するため、本計画において次の目標を掲げ、結婚・出産・子育てしやすい環境の実現と、企業等の誘致による働く場の創出により、働き、子育てする世代を呼び込み、活力あるまちづくりに取り組む。また、JR大網駅周辺や主要幹線道路沿いの土地利用の促進、観光資源の活用など、魅力あふれるまちづくりにより、関係人口の拡大・創出を図る。さらに、本市が持つ高い交通利便性や豊かな自然環境など、地域の個性を活かし、誰もがくらしやすい魅力あふれるまちづくりを着実に進め、本市の目指す地域ビジョン「未来に向けて みんなでつくろう！住みたい・住み続けたいまち」の実現に向けた取組を強化することで、自然動態・社会動態の両面において増加を目指す。

- ・基本目標1 しごとをつくり、安心して働ける場所をつくる
- ・基本目標2 にぎわいと活力にあふれた新しいひとの流れをつくる
- ・基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現する
- ・基本目標4 誰もがくらしやすい魅力あふれる地域をつくる

【数値目標】

５－２の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	事業所数	1,289事業所	1,290事業所 以上	基本目標 1
ア	従業員数	9,418 人	9,419 人以上	基本目標 1
イ	年間転入者数	1,753 人	1,800 人	基本目標 2
イ	年間転出者数	1,752 人	1,700 人	基本目標 2
ウ	年間出生者数	169 人	200 人	基本目標 3
ウ	児童福祉・子育て支援に 対する満足度	2.45	2.46 以上	基本目標 3
エ	住みやすいと思う市民の 割合	62.7%	62.8%以上	基本目標 4
エ	健康づくりに対する満足 度	2.83	2.84 以上	基本目標 4
エ	防災体制に対する満足度	2.62	2.63 以上	基本目標 4

５ 地域再生を図るために行う事業

５－１ 全体の概要

５－２のとおり。

５－２ 第５章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第２期大網白里市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア しごとをつくり、安心して働ける場所をつくる事業

イ にぎわいと活力にあふれた新しいひとの流れをつくる事業

ウ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現する事業

エ 誰もがぐらしやすい魅力あふれる地域をつくる事業

② 事業の内容

ア しごとをつくり、安心して働ける場所をつくる事業

大網駅を中心とした拠点市街地への企業誘致や主要幹線沿道での商業施設等の立地誘導による新たな雇用の場を創出するとともに、市内資源の活用による特産品開発・ブランド化を推進し域内産業の活性化を図る事業。

【具体的な事業】

- ・企業等立地奨励金
- ・ふるさと納税制度の活用 等

イ にぎわいと活力にあふれた新しいひとの流れをつくる事業

本市が持つ高い交通利便性を活かして都市機能の充実を進めながら、シティプロモーションの強化による関係人口の創出・拡大、移住・定住の促進を図る事業。

【具体的な事業】

- ・移住・定住推進事業
- ・魅力発信強化事業 等

ウ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現する事業

医療体制や母子保健を充実させ、出産しやすい環境を整備するとともに、結婚・出産・子育て支援の拡充や教育環境の向上により、切れ目のない子育て支援を図る事業。

【具体的な事業】

- ・結婚新生活支援事業
- ・子育て支援センター事業 等

エ 誰もがぐらしやすい魅力あふれる地域をつくる事業

誰もが居場所と役割を持って社会参加でき、地域防災力の強化や健康づくりの推進等によって誰もが安全・安心にぐらすことができる、地域の個性を活かした魅力あふれるまちづくりを進める事業。

【具体的な事業】

- ・ 自主防災組織づくり事業
- ・ デジタル博物館公開事業 等

※ なお、詳細は第3期大網白里市総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

6,300,000 千円（2025 年度～2030 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度 10 月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本市公式ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2025 年 4 月 1 日から 2031 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

2025 年 4 月 1 日から 2031 年 3 月 31 日まで